

脱炭素社会の実現に向けて

一人ひとりができることを考えてみましょう

それって実は

脱炭素!?



尼崎市では他にも
こんな取組をしています

公共建築物における脱炭素化の推進

新築する公共建築物について、原則ZEB Ready(※)を導入し、また、既存の公共建築物においても省エネ対策を徹底することで、省エネルギー化を推進します。
(※)外壁等の高断熱化と高効率な省エネルギー設備等を備えることにより、国が示すエネルギー消費性能基準からエネルギー消費量を50%以上削減した建築物のこと

尼崎市環境マネジメントシステム

本市の事務事業による環境負荷を継続的に軽減していくため、尼崎市環境マネジメントシステムを運用し、市の事務事業から排出されるCO₂量の把握や環境関連法令の遵守状況の確認、市職員向けの研修会などをPDCAサイクルに基づいて行っています。

公共施設の屋根貸し事業

公共施設の屋根を有償で貸出し、そこに事業者が太陽光発電設備を設置し発電事業を行う、屋根貸し事業を実施しています。
実施場所：あこや学園、市立尼崎高校、武庫東生涯学習プラザ

幼児木育事業

尼崎市では、子どもたちが「遊び」を通じて森林の大切さの理解を深めることができるよう、幼児木育事業を実施しており、5歳児が在籍している市内の幼稚園・保育園などに積み木や紙芝居などの木育用品を配付しています。木育事業では、森林が大気中のCO₂を吸収し、地球温暖化防止に貢献してくれていることも啓発しています。



尼崎市エネルギーの地産地消促進事業

ID:1041591

クリーンセンターで発電された余剰電力を、CO₂排出量ゼロのクリーンな電気として、市内事業者と公共施設に供給しています。

公共施設への再エネ導入の推進

公共施設の脱炭素化を着実に進めるため、令和7(2025)年度以降、新築及び大規模改修の設計を行う公共施設に対し、太陽光発電設備を導入しています。
※ただし敷地及び施設の構造上、設置が困難な施設は除きます。



脱炭素先行地域

ID:1030389

環境省が実施する脱炭素先行地域に、「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」の取組が選定され、令和7(2025)年3月には阪神タイガースファーム施設のあるゼロカーボンベースボールパークが開業しました。引き続きCO₂排出量の実質ゼロを目指します。



公用車へのエコカー導入

令和5(2023)年度から、市が所有する公用車のエコカーへの転換に取り組んでいます。2040年度には特殊車両等を除くすべての公用車をエコカーにすることを目指します。



環境学習・活動の拠点 「あまがさき環境オープンカレッジ」

ID:1003769

尼崎市全体をキャンパスに、さまざまな環境学習講座やイベントを実施しています。また、環境学習や自然観察に関するご相談を受け付けています。



基金のご案内

環境基金

ID:1003765

本市における地球温暖化対策や環境教育に活用します。

SDGs地域活性化基金

ID:1033687

SDGsを踏まえた本市の区域内における地域の活性化に資する事業に活用します。

上記の基金への寄付については、ふるさと納税として税制上の優遇措置を受けることができます。皆さまからのご寄付をお待ちしております。 ID:1006899

尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課 令和8(2026)年8月発行

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号 本庁中館9階

TEL 06-6489-6301 FAX 06-6489-6300 E-mail ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp

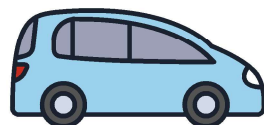




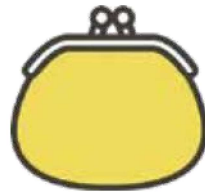
健康に
気をつけたい



安心安全



節約したい



もったいない



リフォーム
したい



誰かの役に
立ちたい



それって実は脱炭素!?

「脱炭素社会の実現に向けた行動」と聞くと「難しそう」と感じるかもしれません。実は普段の何気ない行動や選択が脱炭素に繋がっていることもあります。「もったいない」「節約したい」などいろんな思いで行っている行動のCO₂削減量を見てみましょう。



徒歩で移動する
1.19 kg-CO₂/人・km ※1

急発進・急停車を控えた運転をする
0.34 kg-CO₂/日 ※1

エレベーターの代わりに階段を使用する
0.017 kg-CO₂/階 ※1

最寄りの公共施設でクールシェアを利用する
3.59 kg-CO₂/日 ※1

断熱リフォームをする
1,131 kg-CO₂/戸 ※2

詰め替え洗剤を購入して使用する
0.31 kg-CO₂/回 ※1

エアコンフィルターを月に1回か2回清掃する
13.5 kg-CO₂/年 ※4

テレビをつけっぱなしにする時間を1時間短縮する
0.019 kg-CO₂/日 ※1

暖房便座の温度を「中」から「弱」にする
11.1 kg-CO₂/年 ※4

マイボトルを利用する
0.11 kg-CO₂/回 ※1

冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にする
26 kg-CO₂/年 ※4

食べ残しをしない
0.011 kg-CO₂/日 ※1

冷蔵庫に詰め込む食材を半分にする
18.5 kg-CO₂/年 ※4

古着を選ぶ
25.5 kg-CO₂/着 ※3



太陽光発電設備を設置する
920 kg-CO₂/世帯 ※2

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を購入する
2,551 kg-CO₂/世帯 ※2

白熱電球からLEDランプに交換する
38 kg-CO₂/年 ※4

リサイクルするためにごみを分別する
0.5 kg-CO₂/日 ※1

ペットボトルキャップをリサイクルする
3.15 kg-CO₂/kg ※5

一人ひとりができることを継続し、積み重ねていくことで、大きなCO₂削減に繋がります。みんなで行動していきましょう。

6ページの市民向け事業もみてね!



出典：
※1 デコ活ウェブサイト デコ活データベースv1.1(環境省)
※2 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後(環境省)
※3 グリーン志向消費に関する行動チェックリスト(消費者庁)
※4 省エネ型製品情報サイト(経済産業省資源エネルギー庁)
※5 NPO法人エコキャップ推進協会

気候非常事態行動宣言

近年、私たちは過去に経験をしたことのないような豪雨、猛暑などに見舞われており、尼崎市を含め日本各地で地球温暖化が一因とされる異常気象による被害が発生しています。そして、地球温暖化による影響・被害は、私たちの生活だけでなく自然環境にも及んでおり、すべての生き物の生存基盤を脅かす危機だといえます。

こういった危機を引き起こした主な原因は私たち一人ひとりの人間の活動によって排出された二酸化炭素であるとされており、世界ではパリ協定の下に工業化以前からの気温上昇を2℃より低い状況に保つとともに、1.5℃以下に抑える努力を追求するための取組が始まっています。

私たちは、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする脱炭素社会を実現するため、日々の行動を変えていくことをここに宣言します。

- 2050年までに脱炭素社会を実現するため、2030年の二酸化炭素排出量を2013年比で50%程度削減することを目指します。
- 消費するエネルギーを徹底的に削減するとともに、再生可能エネルギーなどへの転換を目指します。
- 一人ひとりがライフスタイルを見つめ直し、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会からの脱却を目指します。
- 地球温暖化による危機を正しく認識・共有するとともに、この危機を乗り越えるために行動します。



尼崎市のCO₂排出量は、環境省から公表されたマニュアルに基づき、市内のエネルギー消費量等に温室効果ガス排出係数を掛け合わせることで算出しています。

脱炭素社会の実現に向けて、次の取組を重点的に実施します

◆エネルギーをへらす・かえる

再生可能エネルギーの導入拡大

市内で使用される電力に占める再生可能エネルギーの比率を高めます



エネルギーの地産地消

地域に必要なエネルギーを地域の再生可能エネルギーなどでまかないます



省エネ型住宅・建築物の普及促進

脱炭素につながる省エネ型の住宅・建築物の導入を支援します



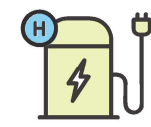
エコカーの普及促進

自動車交通量の減少を図りつつエコカーの導入支援や啓発を行います



水素エネルギーの普及促進

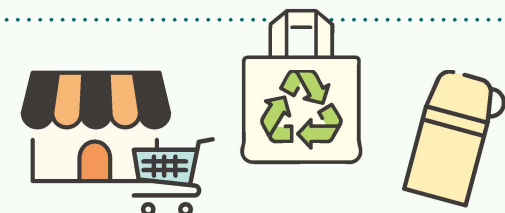
水素を用いた様々な分野の脱炭素化に貢献します



◆ライフスタイルをかえる

ごみとしない取組によるごみ量の削減

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の中でも特にごみとしないこと（リデュース）と再利用（リユース）について、事業者との協力や市民のライフスタイルの転換を図ります。



◆正しく知る

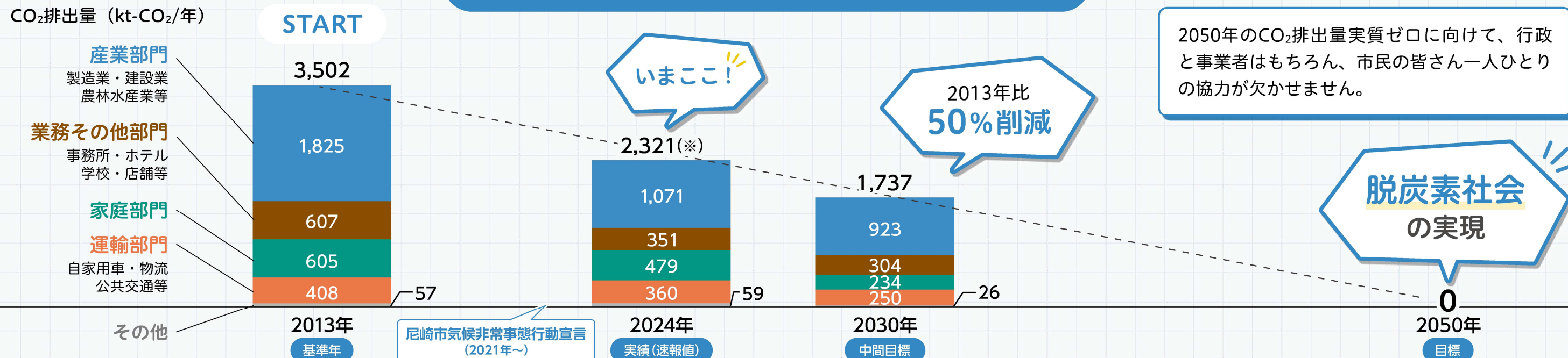
地球温暖化による危機の認識・共有
地球温暖化による危機やその対策について情報提供や啓発を行います。



環境に配慮した行動の普及・啓発
楽しみながら行動できる仕組みを構築し市民や事業者の取組を後押しします。



脱炭素社会に向けたロードマップ



「あまがさき脱炭素経営事業所」
を応援します！

ID:1035126

脱炭素経営に取り組んでいる・取り組む予定であることを宣言する市内事業者の取組目標や達成状況等に応じて、尼崎市が「あまがさき脱炭素経営事業所」として認定します。認定を受けた事業所は、支援機関等による伴走支援を受け、認定ランク毎に様々なサービスの提供を受けることができます。詳細は、市ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先 公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構 事業課 (TEL:06-6488-9565)

社用車をエコカーに
(尼崎市グリーンビークル導入補助制度)

ID:1014292

社用車として電気自動車等を導入する市内事業者を対象に、導入費用を補助します。(電気自動車：10～15万円、燃料電池自動車：60万円)

◆申請受付期間 令和9(2027)年1月29日(金)まで

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)

使い捨てプラスチック代替製品を
利用するイベントを補助

ID:1033770

プラスチックごみを減らすため、市内イベントで「プラスチック代替製品」を利用する主催者等に、費用の一部を補助します。

◆問い合わせ先 業務課 (TEL:06-6409-6833、FAX:06-6409-1193)

資源物(紙資源)の回収拠点設置に
必要な費用の一部を補助

ID:1037305

ごみの減量化及び紙の資源化を推進するため、事業者が新たに資源物回収拠点を設置する際に必要な費用の一部を補助します。

◆申請受付期間 令和8(2026)年5月18日(月)から令和9(2027)年1月29日(金)まで

◆申請方法等 設置前に申請書の提出が必要です。申請書を審査した結果、交付が決定されます。

◆問い合わせ先 ごみ減量政策担当 (TEL:06-6409-1341、FAX:06-6409-1277)

「もったいない!あまがさき 推進店」を募集

ID:1030132

食品ロスやプラスチックごみの削減を推進する店舗などを「もったいない!あまがさき 推進店」として認定しています。推進店には、認定ステッカーなどを交付し、市のホームページに店名や取組内容などを掲載します。

認定要件等は、市ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先 業務課 (TEL:06-6409-6833、FAX:06-6409-1193)

脱炭素に向けた支援制度をご案内
(あまがさきエコカンパニーネットワーク)

ID:1003753

国や兵庫県、尼崎市における省エネ・地球温暖化対策のための補助金・減税等の支援制度を取りまとめ、ガイドブックの配布やメールマガジンの配信を行っています。

◆申込方法 所定の用紙をファクスまたは電子メールで環境創造課までお送りください。

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)

事業者向け太陽光発電設備
共同購入事業

ID:1041543

支援事業者を通じて、太陽光パネルなどを共同購入することで、通常より安価に購入することができます。見積金額を確認してから購入することができます。詳細は市ホームページをご覧ください。

◆対象設備 事業用の太陽光発電設備 (10kW以上2,000kW未満)

◆問い合わせ先 みんなの会社に太陽光事務局 (アイチューザー株式会社) (TEL:0120-203-500)



資源集団回収運動の奨励

ID:1003713

市民団体(管理組合・社協・PTA等)が持ち寄った紙類・布類・缶類を契約した回収業者に引き渡す自主的なリサイクル運動(資源集団回収運動)に対して、市から奨励金が交付されるほか、回収業者から買取金が支払われることもあり、そのお金は団体の活動のために自由に使うことができます。

奨励金の交付を受けようとする団体は、実施前に市への登録が必要です。

◆問い合わせ先 ごみ減量政策担当 (TEL:06-6409-1341、FAX:06-6409-1277)

落第忍者乱太郎のキャラクターを
ラッピングしたC+podを貸出中！

ID:1030339

公用車として使用している超小型電気自動車「C+pod」2台を休日にトヨタレンタリース兵庫 尼崎店及び開明庁舎で貸出しています。【15分220円～】

※ご利用には、スマートフォンで専用アプリ「TOYOTA SHARE」をインストールし、会員登録していただく必要があります。

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)



もったいない!スタンプラリー

ID:1041352

あま咲きコインアプリを活用し「もったいない!あまがさき 推進店」と連携したスタンプラリーを開催します。対象店舗で商品を購入、または料理を食べたり、あま咲きコインで決済のうえアンケートに回答すると、訪問店舗数に応じて抽選であま咲きコインが付与されます。

◆開催期間 令和8(2026)年9月1日(火)から令和8(2026)年11月30日(月)まで

◆問い合わせ先 業務課 (TEL:06-6409-6833、FAX:06-6409-1193)

生ごみ処理機などの購入者に
あま咲きコインを付与

ID:1003714

自宅用に生ごみ処理機や生ごみたい肥化容器、剪定枝粉砕機を新たに購入した人にあま咲きコインを5,000ポイント付与します。

◆対象者 令和8(2026)年6月5日(金)から令和9(2027)年2月26日(金)までに対象の機器(税抜10,000円以上)を購入した市内在住の人

◆申請受付期間 令和9(2027)年2月26日(金)まで (必着)

◆問い合わせ先 ごみ減量政策担当 (TEL:06-6409-1341、FAX:06-6409-1277)

ペットボトルキャップリサイクル

ID:1040060

市内の公共施設などにペットボトルキャップの回収ボックスを設置しています。

回収したキャップはエコキャップ運動に取り組む市内の団体やペットボトルキャップの再資源化・再製品化に取り組む市内の企業に寄付されます。

◆問い合わせ先 業務課 (TEL:06-6409-6833、FAX:06-6409-1193)

家庭における再エネ・省エネ支援制度
を紹介する冊子を配布

ID:1038795

国・県・市の再エネ・省エネ支援制度をまとめた冊子を配布しています。

◆配布場所 環境創造課(市役所本庁舎中館9階)

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)

住宅向け太陽光発電設備等の
共同購入支援事業

ID:1030280

兵庫県と協定を締結した支援事業者を通じて、太陽光パネルなどを共同購入することで、通常より安価に購入することができます。見積金額を確認してから購入することができます。

◆対象設備 住宅用・事業用の太陽光パネル (10kW未満)及び蓄電池

◆参加登録期間 令和8(2026)年9月30日(水)まで

◆問い合わせ先 みんなのうちに太陽光事務局 (アイチューザー株式会社) (TEL:0120-723-100)

あまがさき環境オープンカレッジの
イベントに参加しよう！

ID:1003769

エコあまフェスタ、おもちゃ病院 塚口診療所、あるもんで交歓会(無料リユース市)など、様々なイベントを実施しています。

詳細は市ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先 あまがさき環境オープンカレッジ (TEL/FAX:06-6421-0544)

太陽光パネルを設置した・設置予定の人へ

ID:1041207

太陽光パネルで発電した電力のうち、自家消費した電力からJ-クレジットを創出するプロジェクト(関西エネワ)に参加した方は特典が受けられます。詳細は市ホームページをご覧ください。

◆対象者 太陽光パネルを設置して2年以内の方等(ただし、設置の際、環境省の補助金を利用していない方)

◆参加特典 商品券4,000円相当等

◆問い合わせ先 株式会社バイウィル関西エネワ運営事務局 (TEL:0120-280-455)

省エネ行動をして
あま咲きコインをもらおう！

ID:1033780

CO₂削減につながる特定の省エネ行動(※)に対して、あま咲きコインを付与します。

※省エネ家電への買い替えやエコ通勤、エコカーの購入、電気使用量の削減など。

◆申請受付期間 令和9(2027)年3月12日(金)まで (必着)

※冬季の電気使用量の削減に係る申請は、令和8(2026)年9月30日(水)まで

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)



給水スポットでマイボトルを使おう！

ID:1024855

市内には45施設の無料の給水スポットがあります。ぜひマイボトルを持ってご利用ください。市役所中館9階環境創造課では、オリジナルマイボトル(税込500円)を販売しています。

給水スポットに登録可能な民間施設も募集しています！

◆問い合わせ先 環境創造課 (TEL:06-6489-6301、FAX:06-6489-6300)

